

平成27年度 山口県養護教諭会活動方針

養護教諭の前身である「学校看護婦」が学校に配置され、本年度で110年、「養護訓導」を経て「養護教諭」と名称変更され、73年目をとりました。この間、養護教諭は子どもたちを取り巻く環境の変化や健康問題の多様化・複雑化に適切に対応すべく研鑽を積み、子どもと真摯に向き合い、養護教諭の専門性と独自性を発揮しながら教育実践を展開して参りました。それらの実践が、中央教育審議会答申(平成20年)や「学校保健安全法」(平成21年)において、養護教諭の職務や役割として明確に位置づけられ、養護教諭には学校保健活動の中核としてその能力を発揮することが期待されています。

本会は養護教諭という職の教育研究団体として、昭和27年に設立され、63年目を迎えます。養護教諭の資質の向上に尽力していくとともに、学校保健の推進に寄与することを目的とし活動しています。諸先輩方が一年一年積み重ねてこられた実践の成果を踏まえ、養護教諭への期待に応えるためにも、さらに研鑽を積み、資質の向上を図り、専門性の確立に一層尽力していきます。

本年度は、子どもたちのいのちと健康を守り育てるための基本的なスキルアップ研修の他に、現代的な健康課題に対応すべく、調査研究では「養護教諭から見たメディア環境と子どもの生活」をテーマとして、昨年度に続き取り組むこととしています。

また、平成24年度から大幅に増加している新規採用者、臨時採用者を本会でもサポートしていきます。そして第60回中国地区学校保健研究協議大会(養護教諭部会)もあることから、県内外の養護教諭同士のつながりを深め、養護教諭の職の団体の団体として、組織力の一層の充実を図っていきます。

1 目的

養護教諭の資質の向上を図り、学校保健の推進に寄与する。

2 事業内容

(1) 研修事業

養護教諭研修会、養護教諭研究協議大会、等

(2) 調査研究事業

調査研究「養護教諭から見たメディア環境と子どもの生活」
養護教諭に関する調査

(3) 研究成果刊行事業

研究集録「のぞみ」第59号の発刊

(4) その他、本会の目的達成に必要な事項

HP「なつみかん」の保守・更新
会報「Yogo Teachers in 山口」の発行、
会の紹介リーフレット(27年度版)の発行 等

3 活動方針

- (1) 養護教諭の職務に関する専門的な知識・スキルの習得につながる研修会の企画運営をめざす。
- (2) 調査研究活動を通して、養護教諭の専門性と独自性を探求し、資質の向上を図るとともにその成果を成果物として発行する。
- (3) 広報活動の充実により、情報発信と実践知・研究知等の共有化に努める。
- (4) 養護教諭にかかわる諸問題の改善に努める。
- (5) 養護教諭のネットワークの推進と組織力の充実を図る。